



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月14日

上場会社名 株式会社アスモ 上場取引所 東  
 コード番号 2654 URL http://www.asmo1.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 尊  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 (氏名) 重清 安雄 (TEL) 03-6911-0550  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	9,627	6.2	525	37.1	525	38.0	357	33.6
29年3月期第2四半期	9,061	0.5	383	△0.7	380	0.7	267	△7.8

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 355百万円(67.2%) 29年3月期第2四半期 212百万円(△26.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期第2四半期	25	49	—	—
29年3月期第2四半期	19	07	—	—

(注) 平成29年10月1日付を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益は前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	7,423	—	4,824	—	63.3	—
29年3月期	6,638	—	4,609	—	67.5	—

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 4,697百万円 29年3月期 4,483百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
29年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00	—
30年3月期	—	0.00	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	10.00	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金および年間配当金合計につきましては、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。なお、年間配当金合計額につきましては、基準となる1株が異なるため「—」としております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	18,730	2.3	930	2.3	940	1.4	610	2.5	43	51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成30年3月期(通期)の1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」の(株式併合後の業績予想について)をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	15,145,175株	29年3月期	15,145,175株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	1,124,404株	29年3月期	1,124,404株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	14,020,770株	29年3月期2Q	14,020,770株

(注) 平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の業績予想について)

当社は、平成29年6月28日開催の第42回定時株主総会決議に基づく株式併合(当社普通株式10株を1株に併合)を実施し、単元株式数を1,000株から100株に変更しております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想および連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想  
1株当たり配当金 期末 1円00銭
2. 平成30年3月期の連結業績予想  
1株当たり当期純利益 通期4.35円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	13
(会計方針の変更)	13
(会計上の見積りの変更)	13
(修正再表示)	13
(セグメント情報等)	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善に伴い緩やかな回復基調であったものの、米国における政権運営の動向や不安定な北朝鮮情勢など懸念材料もあり、依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループでは、各事業のストロングポイントを的確に見極めた上でシナジー効果を最大限に発揮していくこと、また、国内だけにとどまらず積極的に海外にも進出し、人口減少時代を迎える日本において多角的な収益構造を構築し安定した成長を目指すことを目標としております。

今期においても各事業の強みを確実に伸ばす事で売上利益共に伸ばす事が出来ました。今後におきましてはグループの目標通り東南アジアを含む様々な国や地域に進出し、事業を成長させる事に邁進して参ります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,627百万円（前年同四半期比6.2%増）、営業利益525百万円（前年同四半期比37.1%増）、経常利益525百万円（前年同四半期比38.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、357百万円（前年同四半期比33.6%増）となりました。

主な事業別の状況は次のとおりであります。

セグメント名称 (セグメントに該当する会社)	主要な事業の内容	
アスモ事業 (株式会社アスモ)	グループ会社の統制・管理、不動産賃貸	
アスモトレーディング事業 (株式会社アスモトレーディング)	食肉の輸出入、食肉及び食肉加工品の販売	
アスモフードサービス事業 (株式会社アスモフードサービス) (株式会社アスモフードサービス首都圏) (株式会社アスモフードサービス東日本) (株式会社アスモフードサービス中日本) (株式会社アスモフードサービス西日本)	高齢者介護施設等における給食の提供	
アスモ介護サービス事業 (株式会社アスモ介護サービス) (株式会社アスマライフサービス)	訪問・居宅介護事業所の運営、有料老人ホームの運営	
ASMO CATERING (HK) 事業 (ASMO CATERING (HK) CO., LIMITED)	香港における外食店舗の運営	
その他	(サーバントラスト信託株式会社)	管理型信託商品の販売
	(アスモ少額短期保険株式会社)	少額短期保険商品の販売
	(ASMO CATERING(TAIWAN)COMPANY LIMITED)	台湾における外食店舗の運営

① アスモトレーディング事業

アスモトレーディング事業におきましては、引き続き、人手不足による物流費の引き上げや、8月に発動されたセーフガードによるアメリカ・カナダ・ニュージーランド等の冷凍牛肉の関税の引き上げ等、依然として安定的な経営を維持しにくい環境が続いております。

このような環境下、今期の柱と位置付けた収益力の高いメキシコ産チルド牛肉の毎週コンスタントな仕入れ及び販売により、売上、利益確保において、一定の成果を見ることができました。

また、通販事業におきましても、新しい販売チャネルである贈答やイベント関連の分野の顧客開拓が功を奏し、最大の需要期である年末に向け、順調に準備を進めることができました。

更に、安定した供給が難しい国産牛において、安価な国産牛の調達の見通しが立ち、それを原料とする加工品の開発にも着手し、今後、期待できるところであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,543百万円(前年同四半期比7.5%増)、セグメント利益(営業利益)は30百万円(前年同四半期比35.0%減)となりました。

前第2四半期連結累計期間に比べ、為替が円安だったため、セグメント利益はやや減少となりましたが、メキシコ産牛肉の安定した供給と販売を更に推進し、通販事業始めオリジナル商品の開発及び拡販をし、前期を上回る売上と利益の確保を目指してまいります。

② アスモフードサービス事業

アスモフードサービス事業におきましては、今期も利益向上のための不採算受託施設の契約解除や、収益を見込める新規施設の受託により、売上高は微減で、営業利益は大幅改善しております。

また、公共施設や医療施設の給食受託に向けた取り組みで、長期的な成長に向け新たな基盤の開発・強化に努めております。

今後も、給食にとって大切な三大要素、「安心・安全をお届けする」「健康維持に必要な栄養をとって頂けるメニューの提供」「皆さんに食事を楽しんで頂くための食の喜び」を基本に、様々なニーズに対応可能でありながら、全施設の正社員が管理栄養士・栄養士・調理師である専門性の高さを強みに事業を展開してまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、3,785百万円(前年同四半期比0.8%減)、セグメント利益(営業利益)は、285百万円(前年同四半期比47.9%増)となりました。

③ アスモ介護サービス事業

アスモ介護サービス事業におきましては、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所および有料老人ホーム運営事業を営んでおり、当第2四半期連結累計期間につきましては、2015年4月の介護保険法の改正による介護報酬大幅減、恒常的な人手不足に伴う人件費の上昇など、足元・先行きとも非常に厳しい状況で推移しております。

このため、介護サービスをご利用いただける機会を増やすことを目的に事業所の開設・見直しを推進しているなか、今年4月、6月に開設をした有料老人ホームのご入居者数が好調に推移している事に加え、既存の事業所でもご契約者数が順調に伸びております。また、平成29年度介護報酬改定に伴い、介護職員処遇改善加算Ⅰを新たに取得した事などから増収増益となりました。

これにより、当第2四半期連結会計期間末現在、訪問介護事業所37事業所(前年同四半期末は38事業所)、居宅支援事業所12事業所(前年同四半期末は12事業所)となり、支援させていただいておりますご契約者様は、1,856名(前年同四半期末は1,731名)。有料老人ホーム6施設(前年同四半期末は3施設)、ご入居者様数は210名(前年同四半期末は83名)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,796百万円(前年同四半期比16.9%増)、セグメント利益(営業利益)は274百万円(前年同四半期比18.6%増)となりました。

今後ともご利用者様の獲得に努めていくとともに、介護人材育成に注力していくことで、より良い人材の確保と定着率向上に努め、介護サービスの質の向上を図ってまいります。

④ ASMO CATERING (HK) 事業

ASMO CATERING (HK)事業におきましては、事業の柱のひとつである日系スーパー内店舗の競合店が、以前は数店舗しかありませんでしたが、ここ最近の新店増加に伴う競争激化により、当社の売上にも影響が出てきております。7、8月の商戦におきましては、物流部門において香港における販売を取り扱っている日本のソフトクリームメーカー(株)日世様の大ヒット商品である『プレミアムソフトクリーム クレミア』を当社の2店舗において香港で初めて販売し、大好評でした。

和食レストラン部門である大型店の『日本料理 今助』におきましては、主力メニューであるうどんにおいて、新たに開発した『豚肉柚子胡椒うどん』や『肉汁つけうどん』や『からみそつけうどん』など発売致しました。特につけうどん2品においてはこれまでにない、新たな今助のうどんの食べ方をお客様に提案し好調に推移しております。

増加し続ける日系スーパーのマーケットは、当社既存店においては脅威であります。当社の新たな出店立地候補が増えるということでもあります。

スーパーの規模そのものが小型化しているため、これまでの出店先であったフードコート併設しない出店も多く、当社としては食品売り場内へも出店できる新たな形態のショップの提案なども今後行っていく予定です。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,146百万円(前年同四半期比9.8%増)、セグメント利益(営業利益)は4百万円(前年同四半期△1百万円)となりました。

⑤ その他の事業

a. サーバントラスト信託株式会社

その他セグメントに含めておりますサーバントラスト信託株式会社は、管理型信託事業を営んでおり、信託事業では、「終活信託(高齢者向けの金銭管理信託、遺言代用信託を含む)」「不動産管理信託」「特定贈与信託」「ペット飼育費保全信託」などの個人向け信託商品のほか、葬儀社向けの「葬儀費用保全信託」、土業等の終活事業を支援する「顧客分別金保全信託」、高齢者施設運営事業者向けの「入居一時金保全信託」、「不動産流動化信託」、商取引の金銭管理を行う「エスクロー信託」など法人向けの信託商品の販売に努めました。従前からの継続的な営業活動による成果が着実に積み上がり、信託契約件数も徐々に増えてまいりました。

営業面以外では、経費削減に努めた結果、前年同期比で増益を実現しております。

引き続き、積極的な営業活動を行っていくとともに、グループ主要事業である介護事業とのシナジーを図りながら、新規信託契約の獲得ならびに売上増加に努めてまいります。

b. アスモ少額短期保険株式会社

その他セグメントに含めておりますアスモ少額短期保険株式会社は、少額短期保険事業を展開しており、生命保険商品3種類(生命定期保険、入院保障付生命定期保険、無選択型生命保険)と損害保険商品(高齢者施設入居者家財保険)を販売しています。

生命保険商品はプロ代理店等による対面販売、インターネット・広告等による通信販売により提供しておりますが、新たに有力NPO法人とタイアップをし、主に東京都内で単身で暮らしているシニアを守るプランとしても販売を開始致しました。

また、損害保険商品「転ばぬ先の杖」(高齢者施設入居者家財保険)は有料老人ホームを代理店化し、入居者にお勧めする販売方法に加え、老人ホーム紹介会社が他社との差別化を目的として1年間サービスとして付保するスキームも普及しつつあります。

c. ASMO CATERING(TAIWAN)COMPANY LIMITED

その他セグメントに含めておりますASMO CATERING(TAIWAN)COMPANY LIMITEDは、台北市郊外の天母そごう店内の『日本料理 今助』と、台北市中心地にある復興そごう店内のフードコートショップ『彩井屋』の2店舗体制にて事業展開しております。

『今助』におきましては、7月に香港の今助同様に新たに開発致しました『豚肉柚子胡椒うどん』『とりの鍋焼きうどん』に加え、台湾では非常に人気のある天井をグラントメニューに加え、主力のうどん各種と組み合わせたミニ天井のセットメニューなども新たに発売し好調に推移しております。

来期に向けて新たに事業展開ができるよう、再度黒字体質に戻すべく諸経費のコントロールにも取り組んでおります。

以上の結果、その他の事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は、352百万円（前年同四半期比5.1%減）、セグメント利益（営業利益）は、15百万円（前年同四半期1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は7,423百万円となり、前連結会計年度末に比べ784百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が571百万円、受取手形及び売掛金が196百万円、商品が56百万円増加し、固定資産「その他」に含まれている投資有価証券が27百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は2,598百万円となり、前連結会計年度末に比べ568百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が118百万円、短期借入金が50百万円、賞与引当金が114百万円、未払法人税等が53百万円、流動負債「その他」に含まれている未払金97百万円及び前受収益73百万円が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は4,824百万円となり、前連結会計年度末に比べ215百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が217百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は63.3%（前連結会計年度末は67.5%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3,168百万円となり、前連結会計年度末より571百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は705百万円（前年同四半期は300百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益498百万円及び、賞与引当金113百万円、仕入債務118百万円、その他の負債150百万円の増加に対し、売上債権の増加による資金の減少121百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、57百万円（前年同四半期は175百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出50百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、76百万円（前年同四半期は73百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額119百万円に対し、短期借入れによる収入50百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。



3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,666,659	3,238,095
受取手形及び売掛金	1,887,235	2,083,978
商品	260,375	317,021
貯蔵品	16,370	14,549
その他	515,160	534,197
貸倒引当金	△37,308	△46,604
流動資産合計	5,308,493	6,141,237
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	246,478	232,937
有形固定資産合計	246,478	232,937
無形固定資産		
のれん	34,760	24,828
その他	52,419	47,296
無形固定資産合計	87,179	72,124
投資その他の資産		
その他	1,311,123	1,291,117
貸倒引当金	△314,419	△314,359
投資その他の資産合計	996,704	976,757
固定資産合計	1,330,361	1,281,820
資産合計	6,638,855	7,423,058

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	463,053	581,628
短期借入金	—	50,000
未払法人税等	126,032	179,571
賞与引当金	185,566	299,778
その他	1,066,674	1,292,391
流動負債合計	1,841,327	2,403,370
固定負債		
退職給付に係る負債	144,457	158,071
その他	43,723	36,907
固定負債合計	188,180	194,978
負債合計	2,029,507	2,598,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
利益剰余金	2,075,538	2,292,675
自己株式	△42,448	△42,448
株主資本合計	4,356,361	4,573,498
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△147	422
為替換算調整勘定	121,071	120,786
退職給付に係る調整累計額	6,267	3,133
その他の包括利益累計額合計	127,191	124,343
非支配株主持分	125,794	126,866
純資産合計	4,609,347	4,824,708
負債純資産合計	6,638,855	7,423,058

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	9,061,828	9,627,869
売上原価	6,939,815	7,324,380
売上総利益	2,122,012	2,303,489
販売費及び一般管理費	1,738,467	1,777,532
営業利益	383,544	525,956
営業外収益		
受取利息	2,727	3,493
助成金収入	3,400	—
その他	2,318	6,830
営業外収益合計	8,445	10,323
営業外費用		
支払利息	401	610
為替差損	10,434	—
貸倒引当金繰入額	△60	9,538
その他	264	378
営業外費用合計	11,040	10,527
経常利益	380,950	525,752
特別利益		
固定資産売却益	83	—
特別利益合計	83	—
特別損失		
固定資産除却損	0	90
投資有価証券評価損	—	27,022
和解金	300	—
特別損失合計	300	27,113
税金等調整前四半期純利益	380,733	498,639
法人税、住民税及び事業税	86,525	129,670
法人税等調整額	29,648	10,477
法人税等合計	116,174	140,147
四半期純利益	264,559	358,491
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,856	1,146
親会社株主に帰属する四半期純利益	267,416	357,344

## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	264,559	358,491
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△126	570
為替換算調整勘定	△60,940	△358
退職給付に係る調整額	9,166	△3,133
その他の包括利益合計	△51,901	△2,922
四半期包括利益	212,658	355,568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	228,396	354,496
非支配株主に係る四半期包括利益	△15,737	1,072

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	380,733	498,639
減価償却費	66,101	70,469
のれん償却額	9,931	9,931
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16	9,236
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	21,128	10,480
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,933	113,943
受取利息及び受取配当金	△2,727	△3,493
支払利息	401	610
為替差損益(△は益)	11,703	121
有形固定資産売却損益(△は益)	△83	—
有形固定資産除却損	0	90
投資有価証券評価損益(△は益)	—	27,022
和解金	300	—
売上債権の増減額(△は増加)	△4,463	△121,725
その他の資産の増減額(△は増加)	△56,185	△25,378
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,210	△54,870
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,369	118,523
その他の負債の増減額(△は減少)	8,041	150,315
未払消費税等の増減額(△は減少)	△16,100	△17,239
その他	—	△1,092
小計	418,149	785,586
利息及び配当金の受取額	16	16
利息の支払額	△401	△610
和解金の支払額	△300	—
法人税等の支払額	△116,983	△110,916
法人税等の還付額	121	31,011
営業活動によるキャッシュ・フロー	300,603	705,086
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△27,022	—
有形固定資産の取得による支出	△65,230	△50,547
有形固定資産の売却による収入	300	—
無形固定資産の取得による支出	△129	△1,468
定期預金の預入による支出	△70,000	△70,005
定期預金の払戻による収入	70,000	70,000
差入保証金の差入による支出	△17,648	△70,311
差入保証金の回収による収入	10,910	41,459
貸付けによる支出	△100	—
貸付金の回収による収入	70	60
建設協力金の支払による支出	△80,000	—
建設協力金の回収による収入	3,642	7,755
保険積立金の解約による収入	—	15,272
投資活動によるキャッシュ・フロー	△175,207	△57,786

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	50,000
リース債務の返済による支出	△3,992	△7,317
配当金の支払額	△119,457	△119,306
財務活動によるキャッシュ・フロー	△73,450	△76,624
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30,464	754
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	21,480	571,430
現金及び現金同等物の期首残高	2,178,617	2,596,659
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,200,098	3,168,090

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 配当に関する事項

配当支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たりの 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月12日 取締役会	普通株式	140,207	1	平成28年3月31日	平成28年6月29日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 配当に関する事項

配当支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たりの 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年5月12日 取締役会	普通株式	140,207	1	平成29年3月31日	平成29年6月29日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					計
	アスモ事業	アスモトレーディング事業	アスモフードサービス事業	アスモ介護サービス事業	ASMO CATERING (HK) 事業	
売上高						
外部顧客への売上高	2,463	1,435,878	3,814,794	2,392,853	1,044,226	8,690,215
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	24,637	52,077	—	—	76,715
計	2,463	1,460,515	3,866,872	2,392,853	1,044,226	8,766,930
セグメント利益又は損失(△)	△88,040	47,152	193,159	231,514	△1,312	382,474

(単位：千円)

	その他(注)	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高				
外部顧客への売上高	371,613	9,061,828	—	9,061,828
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	76,715	△76,715	—
計	371,613	9,138,544	△76,715	9,061,828
セグメント利益又は損失(△)	1,040	383,514	29	383,544

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	382,474
「その他」の区分の利益又は損失(△)	1,040
セグメント間取引消去	29
四半期連結損益計算書の営業利益	383,544

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。



## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					計
	アスモ 事業	アスモトレ ーディング 事業	アスモフー ドサービス 事業	アスモ介護 サービス 事業	ASMO CATERING (HK)事業	
売上高						
外部顧客への売上高	2,376	1,543,591	3,785,212	2,796,992	1,146,887	9,275,060
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	31,527	88,627	—	—	120,155
計	2,376	1,575,118	3,873,840	2,796,992	1,146,887	9,395,215
セグメント利益又は損失(△)	△84,268	30,644	285,639	274,647	4,445	511,109

(単位:千円)

	その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高				
外部顧客への売上高	352,808	9,627,869	—	9,627,869
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	120,155	△120,155	—
計	352,808	9,748,024	△120,155	9,627,869
セグメント利益又は損失(△)	15,050	526,159	△202	525,956

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	511,109
「その他」の区分の利益	15,050
セグメント間取引消去	△202
四半期連結損益計算書の営業利益	525,956

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。